

BEST AVAILABLE COPY

[First Hit](#)[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

Generate Collection

Print

L9: Entry 6 of 7

File: JPAB

Oct 13, 1995

PUB-NO: JP407264298A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07264298 A

TITLE: COMMUNICATION METHOD AND ITS DEVICE

PUBN-DATE: October 13, 1995

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

ONO, AKIRA

TANIGAWA, HIROYA

TAKAHASHI, TOSHIO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

NIPPON TELEG & TELEPH CORP

APPL-NO: JP06056356

APPL-DATE: March 25, 1994

INT-CL (IPC): H04 M 3/42; H04 M 11/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a communication method and its device in which undesired hindrance to a called party is prevented by allowing a caller to select a most proper communication means.

CONSTITUTION: In the communication system having plural network interfaces for a telephone system, a video telephone system a facsimile equipment, an electronic mail and a voice mail or the like, communication means available for each person are registered in advance in a communication means registration section 1, a caller acquires a communication means registered in a called device by a called party communication means acquisition section 5 prior to transmission of a communication content, then a communication means selection section 9 provides the communication means available for both the caller and the called party for the caller and the caller uses the communication means section means 9 to select any of the available communication means.

COPYRIGHT: (C) 1995, JPO

[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-264298

(43)公開日 平成7年(1995)10月13日

(51)Int.Cl.⁸

H 0 4 M 3/42
11/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

E

3 0 2

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平6-56356

(22)出願日 平成6年(1994)3月25日

(71)出願人 000004226

日本電信電話株式会社
東京都千代田区内幸町一丁目1番6号

(72)発明者 小野 朗

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日
本電信電話株式会社内

(72)発明者 谷川 博哉

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日
本電信電話株式会社内

(72)発明者 高橋 寿男

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日
本電信電話株式会社内

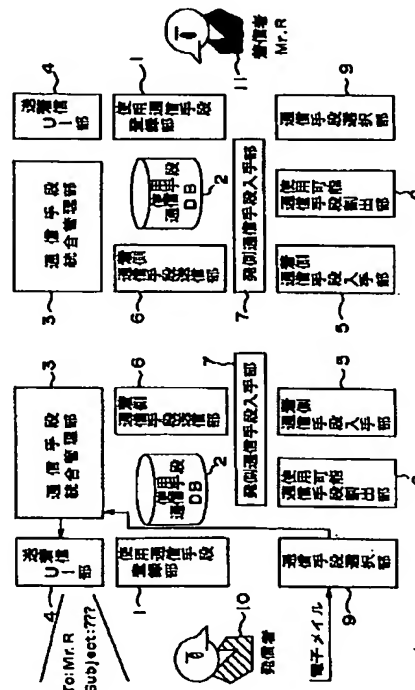
(74)代理人 弁理士 吉田 精孝

(54)【発明の名称】 通信方法及びその装置

(57)【要約】

【目的】 最も適切な通信手段を発信者を選択させることで、着信者への不必要な邪魔を妨げることのできる通信方法及びその装置を提供する。

【構成】 電話、テレビ電話、ファクシミリ、電子メール、音声メール等の複数のネットワークインタフェースを持つ通信システムにおいて、各人が使用可能な通信手段を事前に通信手段登録部1に登録しておき、着側通信手段入手部5により発信側が着信装置に登録されている通信手段を通信内容の発信に先立ち入手し、これにより、発信側及び着信側双方が使用可能な通信手段を発信者に通信手段選択部9により提示し、発信者が使用可能な通信手段の内いずれかを通信手段選択手段9で選択する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話、テレビ電話、ファクシミリ、電子メール、音声メール等の種別の異なる複数の通信手段に対応して、複数のネットワークインタフェースを持つ通信装置を用いる通信方法において、

発信側及び着信側で使用可能な通信手段の情報を通信装置に事前に登録しておき、

着信側で使用可能な通信手段の情報を、発信側が通信内容の発信に先立ち入手し、

発信側及び着信側双方が使用可能な通信手段の情報を発信者に提示し、提示された通信手段の内いずれかを発信者が選択して通信内容の発信を行うことを特徴とする通信方法。

【請求項2】 電話、テレビ電話、ファクシミリ、電子メール、音声メール等の種別の異なる複数の通信手段に対応して、複数のネットワークインタフェースを持つ通信装置において、

発信側及び着信側で使用可能な通信手段の情報を事前に登録する通信手段登録手段と、

着信側で使用可能な通信手段の情報を、通信手段登録手段を通じて発信側が通信内容の発信に先立ち入手する着側通信手段入手手段と、

着側通信手段入手手段の入手情報に基づき、発信側及び着信側双方が使用可能な通信手段を発信者に提示し、提示された通信手段の内いずれかを発信者が選択して通信内容の発信を行う通信手段選択手段とを有することを特徴とする通信装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、複数のネットワークインタフェースを持つ通信装置を用いて行なう通信方法及びその装置に関し、着信者が使用可能な通信手段を、発信者が通信内容の発信前に知ることにより、発信者が行なおうとしている通信内容に最も適した通信手段を選択できるようにした通信方法及びその装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】電話、テレビ電話、ファクシミリ、電子メール、音声メール等の種別の異なる複数の通信手段に対応して、複数のネットワークインタフェースを持つ通信装置を用いて行なう通信において、従来は、相手が使用可能な通信手段や相手の都合が分らない発信者が一般的な通信手段や自分の都合で選択した通信手段で通信を実行するのが普通であった。

【0003】図2は、従来技術による通信手段選択から呼びだしの流れの概念図である。同図(a)は、発信者10が着信者11と通信を行う際に何の通信手段を使って行かうか選択しているところを、同図(b)は、発信者10が選択した通信手段で、着信者11に對話意欲があるのを表示したところを示している。

【0004】図2(a)のように、発信者10は、着信者11の忙しさ等、着信者11への侵略度に影響を与える情報について発信前に知ることができないため、自分の都合だけを考慮して通信手段を選択し、同図(b)のように着信者11がいかなる状態の時にも発信者10が選択した通信手段を持つ発信者10の對話意欲を表示する方法で、着信者11に発信者10の對話意欲を表示する。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】従来の装置は以上のように構成されているので、発信者は、もっと適切な通信手段があるのにも拘わらず、一般的な通信手段を用いて通信を行なわざるを得なかったり、発信者は着信者の状態等を考慮することなく、自分の都合で通信手段を選択し、着信者はいかなる状態の時にも、任意の相手から任意の通信手段による任意の用件で割り込みがかけられ、しかも実時間系の通信手段を選択された場合には、用件は對話の開始後にしか知ることができず、着信側での對話の選択ができないため、着信者が手を離せなかったり、忙しかったりする状況の時に、発信者の勝手な都合により緊急でない用事を持ち込み、着信者に迷惑をかけたかという問題点があった。

【0006】本発明の目的は、上記問題点に鑑み、可能な範囲で、最も適切な通信手段を発信者に選択させることで、より確実に情報を伝達することや、着信者への不必要な邪魔を妨げることのできる通信方法及びその装置を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記目的を達成するため、請求項1では、電話、テレビ電話、ファクシミリ、電子メール、音声メール等の種別の異なる複数の通信手段に対応して、複数のネットワークインタフェースを持つ通信装置を用いる通信方法において、発信側及び着信側で使用可能な通信手段の情報を通信装置に事前に登録しておき、着信側で使用可能な通信手段の情報を、発信側が通信内容の発信に先立ち入手し、発信側及び着信側双方が使用可能な通信手段の情報を発信者に提示し、提示された通信手段の内いずれかを発信者が選択して通信内容の発信を行うようにした通信方法を提案する。

【0008】また、請求項2では、電話、テレビ電話、ファクシミリ、電子メール、音声メール等の種別の異なる複数のネットワークインタフェースを持つ通信対話装置において、発信側及び着信側で使用可能な通信手段の情報を事前に登録する通信手段登録手段と、着信側で使用可能な通信手段の情報を、通信手段登録手段を通じて発信側が通信内容の発信に先立ち入手する着側通信手段入手手段と、着側通信手段入手手段の入手情報に基づき、発信側及び着信側双方が使用可能な通信手段を発信者に提示し、提示された通信手段の内いずれかを発信者が選択して通信内容の発信を行う通信手段選択手段とを

有する通信装置を提案する。

【0009】

【作用】本発明の請求項1及び2によれば、互いに離れた状態にあり、即時系の通信手段を用いて通信を行う場合、各人が使用可能な通信手段を事前に登録しておき、発信側が着信装置に登録されている通信手段を通信内容の発信に先立ち入手することができ、これにより、発信側及び着信側双方が使用可能な通信手段を発信者に提示し、発信者が使用可能な通信手段の内いずれかを選択して通信内容の発信を行なうことができ、相手の現在の状態への邪魔を回避しながらも目的の通信を行なうことが可能となる。

【0010】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図面を用いて説明する。

【0011】図1は本実施例における構成図を示しており、図中1は各人が使用する通信手段を、ここを通して登録する使用通信手段登録部、2は使用通信手段登録部1により登録された通信手段の情報を保持する使用通信手段データベース(DB)、3は使用通信手段DB2に登録されている複数の通信手段による送着信を統合して管理する通信手段統合管理部、4は通信手段統合管理部3で管理されている通信手段を用いて通信を行う際に用いる送着信ユーザインターフェース(UI)部、5は着信者11が登録している通信手段を記憶している装置に情報を要求する信号を出し、その装置に欲しい情報を送信させることにより、着信者11が装置に登録している通信手段の情報を送信する着側通信手段送信部、7は発信者10が登録している通信手段を入手する発側通信手段入手部、8は着側通信手段入手部5により入手した着信者11が使用可能な通信手段の情報と、発信側通信手段入手部7により入手した発信者10が使用可能な通信手段の情報とから、発着信者双方が使用可能な通信手段を割り出す使用可能通信手段割出部、9は使用可能通信手段割出部8により割り出された発着信者双方が使用可能な通信手段を発信者10に提示して、どの通信手段で通信を行なうかを選択させる通信手段選択部である。なお、上記各構成部は、発信側及び着信側とに設けられている。

【0012】図3は本実施例で用いる通信パターンを示す。図3では、発信者10が着信者11に、連絡をとろうとしているが、電話だと邪魔になるかもしれないので、別の通信手段で行なおうとしているところを示している。発信者10の使用可能通信手段は、電話・テレビ電話・ファクシミリ・電子メールであり、着信者11の使用可能通信手段は、電話・ファクシミリ・電子メール・音声メールである。

【0013】図4乃至図7は、図3に示した通信パターンで通信を行なう場合に、本装置がとる動作を示している。図4は、発信者10が装置に登録している通信手段

の情報を入手したところを、図5は、発信者10が装置に登録している通信手段の情報を入手し、先に入手した着信者11が装置に登録している通信手段の情報と合わせて、発着信者双方が使用可能な通信手段を割り出したところを、図6は、発着信者双方が使用可能な通信手段を発信者10に提示しているところを、図7は、発信者10が使用する通信手段として電子メールを選択し、本装置が電子メール装置を起動したところを示している。

【0014】すなわち、図3に示すような通信を行なう場合、まず、発信者10が装置を起動すると、図4に示すように、発信側の着側通信手段入手部5は、着信側の着側通信手段送信部6、使用通信手段DB2を通じて着信者11が装置に登録している通信手段の情報を入手する。その後、図5に示すように、発信者10が装置に登録している通信手段の情報を発信側の使用通信手段DB2、発側通信手段入手部7を通じて入手し、先に入手した着信者11が使用可能な通信手段と合わせて、使用可能通信手段割出部8により、発信者及び着信者双方が使用可能な通信手段を割り出す。そして、図6に示すように、割り出した発信者及び着信者双方が使用可能な通信手段を通信手段選択部9を通じて発信者10に提示する。この例では、電話とファクシミリと電子メールが提示される。使用可能な通信手段を提示された発信者10は、図7に示すように、その中から自分が使用したい通信手段を通信手段選択部9にて選択し、通信内容の発信を実行する。このようにして、発信者10は、電子メールにより目的の情報を伝達することになる。

【0015】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の請求項1の通信方法によれば、相手への侵略度の予測結果と、自分と相手がともに使用可能な通信手段に関する情報とから、もっとも相応しい通信手段を発信者に提示し、選択させることにより、時期的に相応しくない通信での現在の状態への妨害の減少が可能となる。また、本発明の請求項2の通信装置によれば、請求項1の通信方法を適確に実現することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す構成図

【図2】従来技術において発信から着信者が通信目的を知るまでの通信の説明図

【図3】一実施例における動作を示す図

【図4】一実施例における動作を示す図

【図5】一実施例における動作を示す図

【図6】一実施例における動作を示す図

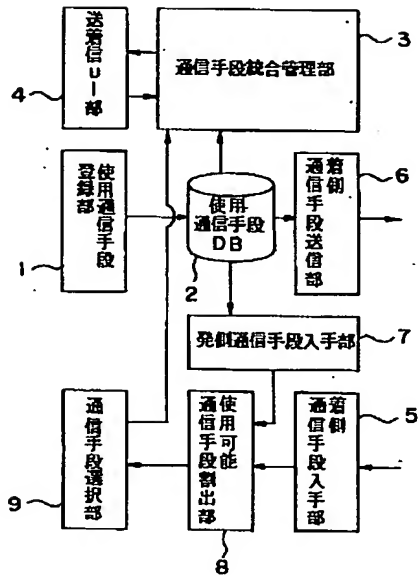
【図7】一実施例における動作を示す図

【符号の説明】

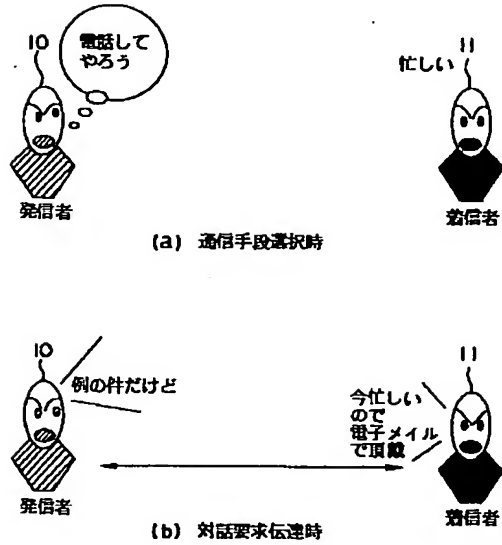
1…使用通信手段登録部、2…使用通信手段DB、3…通信手段統合管理部、4…送着信UI部、5…着側通信手段入手部、6…着側通信手段送信部、7…発側通信手段入手部、8…使用可能通信手段割出部、9…通信手段

選択部。

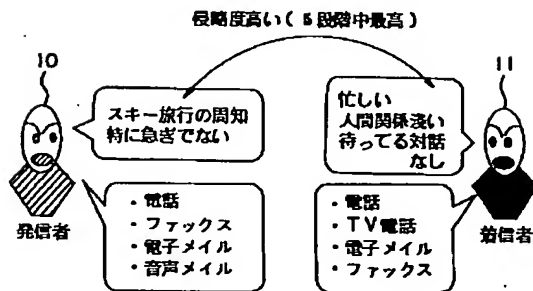
【図1】



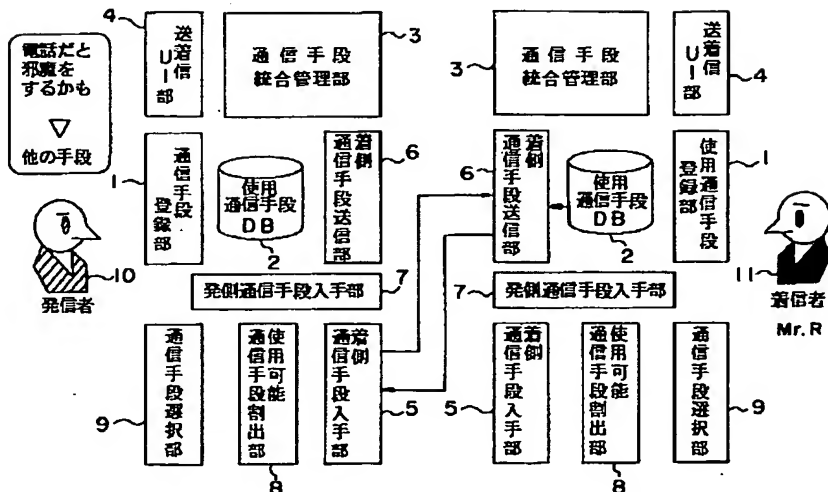
【図2】



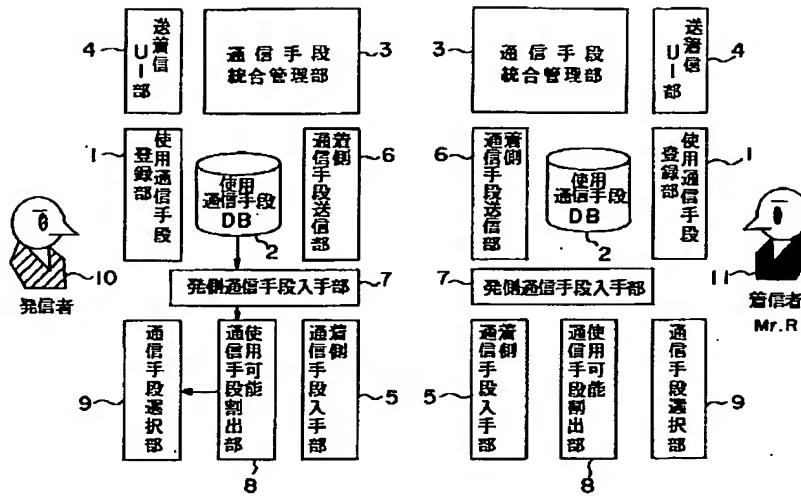
【図3】



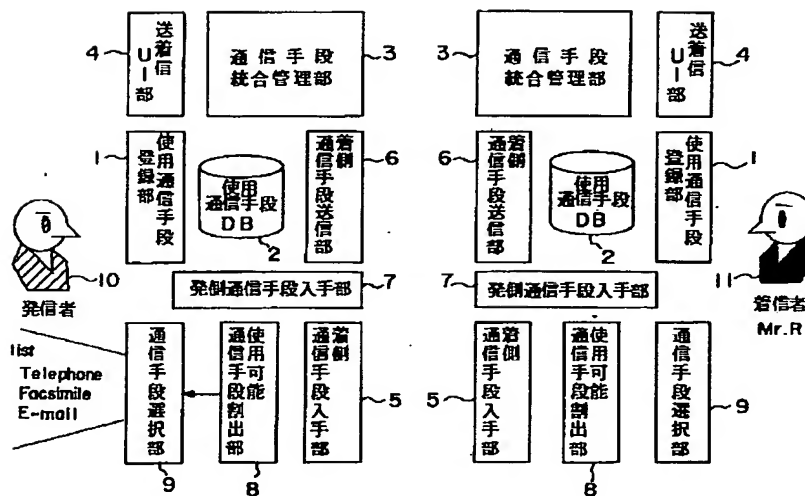
【図4】



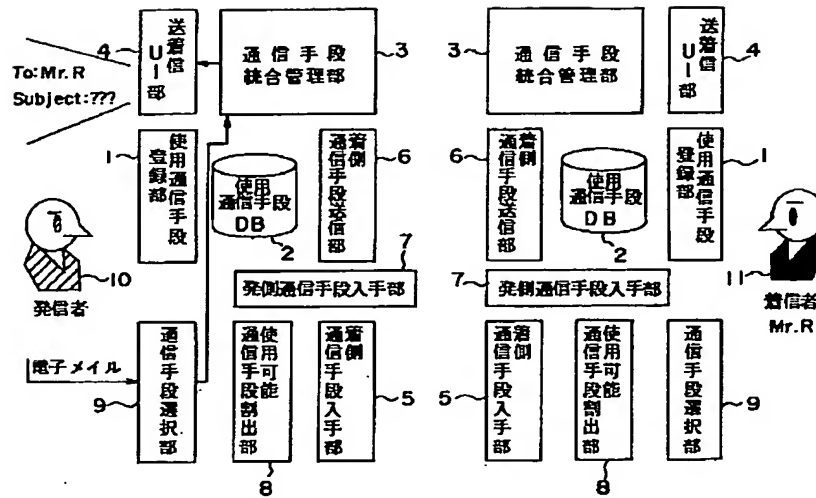
【図5】



【図6】



【図7】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ BLACK BORDERS
- ☒ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☒ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.